

# 公共交通網整備事業

[446]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0101	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	公共交通による移動手段の確保	担当	都市整備部 都市計画課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	公共交通利用者(市民)、バス事業者、鉄道事業者	<p>【都市計画マスタープラン掲載重点事業】</p> <p>【平成30年度実施内容】・市営バス：小規模見直し検討 ・印場駅バリアフリー化検討</p> <p>【平成31年度実施内容】・市営バス：小規模見直し実施 ・印場駅バリアフリー化検討</p> <p>【事業内容】</p> <p>利用者アンケートの実施や地域公共交通会議の開催などにより、利用しやすい公共交通を目指す。</p> <p>&lt;取組み経緯&gt;</p> <p>・市営バス：平成16年12月試験運行開始。平成20年4月より条例施行。平成28年4月運行内容変更。</p> <p>・既存の交通網維持のため、バス及び鉄道事業者等に各種の要請を行う。</p> <p>・バス事業者からの撤退及び公的補助の申し出への対応</p> <p>・必要に応じて、鉄道事業者に要請</p> <p>G事業費に繰越(29・30)15,341千円あり。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

- ・多くの市民が市営バスを利用している。
- ・既存の交通網の維持が図られている。

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	地域公共交通会議の開催回数	回	3	2	3	2	
	公共交通網に関する要請回数	回	3	3	3	3	
成果指標	市営バスの利用者数	人	200,168	229,849	220,000	236,096	
	公共交通運行本数(民間事業者)	本	485	505	500	505	
事業費 計			83,154	152,149	52,026	64,003	
財源内訳		ア 国		5,440		5,760	
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		1,435	24,357	1,637	1,289
		オ 一般		81,719	122,352	50,389	56,954

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)市営バスの利用者数は昨年度実績に比べ2.7%向上したが、公共交通運行本数(民間事業者)は昨年度実績と同様であった。 (原因)平成29年1月のダイヤ改正により平日の遅延運行が減少したこと及び改正内容が利用者に浸透したことが市営バス利用者増加につながった。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	印場駅のバリアフリー化に向け、検討を進めます。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

印場駅バリアフリー化に向けて、鉄道事業者との協議を進めた。

# 自転車等駐車場維持管理事業

[447]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0201	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	駅・駅周辺施設の整備	担当	市民生活部 市民活動課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民 自転車等駐車場	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	市内4駅及びバス停周辺に整備された自転車等駐車場(28箇所) ・整理員13人を1日2時間配置 ・自転車等駐車場内の草刈を委託 ・長期間放置してある自転車を撤去する ・撤去した自転車の保管に関しては、告示後6ヶ月管理・保管する。その後、リユースや再資源化を図る。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	駅周辺における自転車等駐車場の整備及び整理員を配置することにより、自転車の路上放置がなくなっている。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	自転車等駐車場利用台数	台/日	2,875	3,365	3,100	3,292	
成果指標	市が撤去する自転車台数	台	420	389	450	388	
	路上に放置されている自転車台数	台	0	0	0	0	
事業費 計			7,096	7,064	7,196	6,974	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		73	211	135	164
		オ 一般		7,023	6,853	7,061	6,810

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)昨年と比べ、自転車等駐車場の利用台数及び市が撤去する自転車台数は微減した。 (原因)放置自転車と思われる自転車に対し、シルバー人材センターと連携し啓発札を貼付したり、駐輪場利用案内看板の修繕を行った結果、利用マナーがよくなったと考えられる。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	駐輪場の利用状況を確認し、低利用箇所の有効活用を図ります。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
市に帰属した放置自転車の再資源化を行った。(376台 350円/台) 市民会館解体工事に伴い、尾張旭駅第2自転車等駐車場の利用者に対し、周辺の駐輪場の周知を行った。			

# 三郷駅周辺まちづくり事業

[448]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0202	実施計画
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	駅・駅周辺施設の整備	担当	都市整備部 都市計画課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	駅利用者 駅周辺住民	【都市計画マスタープラン掲載重点事業】 現行の計画地(昭和38年2月1日都市計画決定)の位置等を再検討し、市の表玄関にふさわしい規模、施設水準の駅前広場を整備するとともに住民主体の地域にふさわしいまちづくりを進める。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<取組み経緯・概要> H21・22 三郷駅前広場の整備を目的としたワークショップを開催し意見を集約 H23・24 まちづくりに対する活動と駅前広場の実現に向けた検討を継続。 H25 三郷駅周辺の地権者によるまちづくり協議会設立 H26 地域住民主体のまちづくり基本構想を作成 H27 三郷駅周辺まちづくり基本計画を作成 H28 実態調査、環境評価、交通量調査を実施 H29 現地測量、建物調査、地権者ヒアリング、用地取得事務を実施 H30 関係機関協議、概略施設計画案の作成、用地取得事務を実施
	アンケート結果や地域での検討結果を踏まえ、駅前広場や駅周辺の環境整備により住民が安心して生活ができています。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	三郷駅前広場整備率	%	0	0	0	0
成果指標	バス停から三郷駅までの移動に要する時間	分	3	3	3	3
	三郷駅および駅周辺の整備や利便性について満足している市民の割合	%		68	76	63.8
事業費 計			11,272	15,390	28,000	21,394
財源内訳		ア 国	1,700	2,800	6,000	4,200
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	9,572	12,590	22,000	17,194

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 一部遅延あり 【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) 三郷駅および駅周辺の整備や利便性について満足している市民割合が4.2ポイント減少している。 (原因) 地権者との合意形成及び関係機関協議に時間を要し、駅周辺整備の目途が立っていないことが原因と考えられる。
--------	---	--

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	地権者の意向を反映し、駅前広場の整備を進めます。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
三郷駅周辺まちづくりワークショップを開催し、幅広い世代の意見集約を実施。まちづくり説明会を実施し、再開発準備組合の加入届けを収集。			

# 歩道バリアフリー推進事業

[432]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0302	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	交通バリアフリーの推進	担当	都市整備部 土木管理課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	歩道 歩道を通行する道路利用者	【都市計画マスタープラン掲載重点事業】 平成14年度 交差点部における歩道と車道の段差状況の調査 段差解消の必要な箇所を選定(395箇所) 整備方針(整備の手法)を策定 平成25年度 交差点部だけでなく、歩道全てを段差解消の対象とする 毎年度 歩道の段差を解消する工事を実施
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<参考> 平成16年度 市道巡検道線、卓ヶ洞1、2号線等を実施 平成17年度 市道巡検道線、瀬戸新居線を実施 あんしん歩行エリア内による整備着手 平成18年度 市道瀬戸新居線などを実施 平成19年度~ 市道巡検道線他歩道改良実施
	歩道の段差を解消し、誰もが安心して安全に歩道を通行できるようになっている	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	段差解消工事の実施箇所数	箇所	27	12	7	26
成果指標	段差解消を施工した累計箇所数	箇所	317	329	331	355
事業費 計			1,998	1,998	2,000	1,998
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	1,998	1,998	2,000

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 段差解消を施工した累計箇所数は昨年度実績と比べ7.9%向上しており、H30計画値と比べても19箇所多い結果となっております。 (原因) 他事業と同調して工事をを行い解消箇所数を増やすことができた結果です。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 霞ヶ丘線整備事業

[449]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0401	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	幹線道路整備の推進	担当	都市整備部 都市計画課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	道路利用者(車両利用者・歩行者)	<p>【都市計画マスタープラン掲載重点事業】</p> <p>【平成30年度以降の実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度中に霞ヶ丘線の道路用地取得及び物件移転を完了する。</li> <li>平成30年度中に整備工事を完了する。</li> </ul> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画道路の用地取得及び道路整備を行う。</li> </ul> <p>道路幅員：16～20m                  計画延長：約760m                  事業認可：平成14年8月2日                  変更認可：平成21年1月27日、平成26年1月24日・平成29年3月28日                  事業期間：平成14年8月2日～平成31年3月31日                  G事業費に繰越(29 30)172,143千円あり。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

霞ヶ丘線の整備により東西主要幹線道路の機能が強化され、通行車両や歩行者が安全かつ快適に当該道路を利用できるようになっている。

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	新設道路延長	m	0	0	760	760
	用地取得率の累計(全体計画に占める割合)	%	91	99	100	100
成果指標	特定時間帯における東西通過所要時間	分	10	10	2	10
	白鳳小学校北西交差点から雨池南交差点までの通行距離	m	1,870	1,870	1,230	1,870
事業費 計			374,847	324,976	278,300	459,241
財源内訳		ア 国	108,692	59,715	121,000	95,000
		イ 県				
		ウ 地方債	159,900	229,500	130,000	244,000
		エ その他		15,000		
		オ 一般	106,255	20,761	27,300	120,241

## H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が大きい</p>	<p>(状況) 暫定での供用開始となったため活動指標は横ばいとなった。                  (原因) 接続する山の手通線(名古屋市施工部分)が供用開始しておらず、暫定供用となったため。</p>
--------	--	---

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	平成30年度の事業完了に向け、霞ヶ丘線の整備を行います。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

平成30年度に道路用地取得及び整備工事は完了。ただし、接続する山手通線(名古屋市施工部分)が供用開始していないため、暫定供用となった。

# 幹線道路補修事業

[990]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0402	実施計画
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	04	幹線道路整備の推進	担当	都市整備部 土木管理課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	幹線道路 幹線道路利用者	H18 幹線道路補修計画策定 (対象路線:63本、道路延長:64.4km) 対象路線:1・2級市道及び1・2級市道を結ぶ比較的交通量の多い路線
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	H19~ H22 幹線道路補修工事の実施 路面劣化状況、交通量等により、幹線道路補修計画を見直す。 (対象路線:63本、道路延長:67.2km、車線延長:123.5km) H27 路面劣化状況、交通量等により、幹線道路補修計画を見直す。 (対象路線:63本、道路延長:67.2km) H28~ 幹線道路補修工事の実施 ・道路パトロール等により、必要に応じて補修計画を変更する。 ・国交省と同様に5年毎に計画を見直す。
	道路の舗装面に亀裂やたわみ等がなく、 利用者が安心して安全に通行できるよう になっている	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	舗装補修必要路線数	本	39	39	39	39
	舗装補修必要延長	km	18.4	18.4	18.4	18.4
成果指標	舗装補修延長	m	435	2,659	730	1,839
	舗装補修率	%	2.4	16.8	18	26.8
事業費 計			24,999	126,996	123,000	122,984
財源内訳		ア 国	12,650	32,174	55,000	44,000
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他			60,000	
		オ 一般	12,349	94,822	8,000	78,984

## H30年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 順調 <b>【成果指標の状況】</b> 維持・横ばい <b>【成果向上余地】</b> 余地が小さい・なし	(状況) 舗装補修率は昨年度実績と比べ10.0p向上しています。 (原因) H31の全国植樹祭開催に向け、幹線道路の補修を前倒して進めてる結果です。
--------	--	---

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	全国植樹祭開催に向け、幹線道路の補修工事を行います。 施設の管理については、公共施設等総合管理計画に基づき、適切に行います。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
全国植樹祭開催に向け、幹線道路の補修を、幹線道路補修計画に基づき、進めました。			

# 道路保険加入事業

[395]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0502	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	05	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)															
	道路(橋梁含む)、道路利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間保険料の支払い(契約先: 全国市有物件災害共済会、幹事会社: 損保ジャパン)</li> <li>道路管理損害保険料</li> <li>事故の発生時の対応 現地確認、保険会社へ連絡、被害者との交渉、示談</li> <li>賠償金の支払い 道路管理賠償金(過失割合は保険会社が判断)</li> <li>議会への報告</li> </ul> <p>道路管理者の管理瑕疵による事故発生件数</p> <table border="1"> <tr> <td>H17: 1件</td> <td>H18: 3件</td> <td>H19: 2件</td> <td>H20: 0件</td> <td>H21: 0件</td> </tr> <tr> <td>H22: 1件</td> <td>H23: 0件</td> <td>H24: 0件</td> <td>H25: 2件</td> <td>H26: 1件</td> </tr> <tr> <td>H27: 2件</td> <td>H28: 3件</td> <td>H29: 0件</td> <td>H30: 0件</td> <td></td> </tr> </table>	H17: 1件	H18: 3件	H19: 2件	H20: 0件	H21: 0件	H22: 1件	H23: 0件	H24: 0件	H25: 2件	H26: 1件	H27: 2件	H28: 3件	H29: 0件	H30: 0件	
	H17: 1件		H18: 3件	H19: 2件	H20: 0件	H21: 0件											
H22: 1件	H23: 0件	H24: 0件	H25: 2件	H26: 1件													
H27: 2件	H28: 3件	H29: 0件	H30: 0件														
意図(対象をどのような状態にしたいのか)	保険への加入により、万一の事故の際に対応ができる。																

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	保険料	円	453,480	456,200	473,200	456,200	
	保険対象事故件数	件	3	0	0	0	
成果指標							
事業費 計		千円	645	456	475	456	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他	191		1	
		オ 一般	454	456	474	456	

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	非常に順調	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
【成果向上余地】	未設定	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 道水路用地借上事業

[396]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0503	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	05	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
		道路及び水路用地の確保のため、私有地の一部を有償で借用する。 「私有財産借受料算定基準等」により算出した借上料を土地所有者に支出する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	平成23年度より 35-0201 水路用地借上事業 を統合 「道水路用地借上事業」に事業名変更

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計			141	137	145	135
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	141	137	145

## H30年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果向上余地】</b> 未設定	
--------	--	--

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定



# 生活道路改良事業

[399]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0504	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市の管理する道路 道路利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民等からの苦情要望箇所及び市が改良を必要と考えた箇所の中から優先的に工事を実施する箇所を選定する。</li> <li>・現場を調査し、施工方法を検討する。</li> <li>・改良に高額な費用が必要となる場合は、別途予算要望するが、緊急性が高く、比較的 小規模な費用で実施可能なものは、当該事業にて実施する。</li> <li>・工事を設計する。</li> <li>・用地交渉、補償交渉が必要な箇所は、所有者などと交渉する。</li> <li>・所有者など関係者の理解を得た後、工事を実施する。</li> <li>・未舗装の道路に対して、要望に基づき舗装を行う。</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
道路・排水施設などを改良し、道路の利便性を高め、利用者が安全に安心して通行できるようになっている		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	道路の改良件数	件数	12	19	15	16
成果指標	道路の改良延長	m	252	320	600	632
	市道の舗装整備率	%	98.2	98.2	98.2	98.2
事業費 計			16,357	35,028	37,999	46,674
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	16,357	35,028	37,999

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 道路の改良延長は対前年度比で97.5%向上した。 (原因) H30は巡検道線や城山1号線など道路改良工事の実施が重なったことが要因と考えられる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 道路清掃事業

[400]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0505	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	道路利用者・市が管理する道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢田川堤防道路などの路肩等の草刈委託(道路環境整備委託料)、直営</li> <li>・市民要望等により随時道路の草刈りなど直営(草等の処分は公共ゴミ処理手数料)</li> <li>・市民等が清掃した側溝の汚泥の回収と処理直営、委託(側溝汚泥処理委託料)</li> <li>・道路路面の清掃委託(道路清掃等委託料)、直営</li> <li>・ポケットパーク(12箇所)やシンボルロードの清掃を定期的に行う直営、委託(土木管理用地清掃等委託料)</li> <li>・公共施設アダプトプログラム</li> </ul> H29年度末現在14団体と合意 活動支援、活動状況把握、看板設置、コミュニケーションづくり 保険は市民活動課で対応 平成23年度より31-0208土木管理課管理用地管理事業を統合
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
道路が安全に維持管理されることにより、道路利用者が快適に通行している		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	除草清掃した道路の延長距離(委託除草延長+委託清掃延長)	km	54	48	58	46
	回収した汚泥の容量	m3	118	104	120	118
成果指標	道路清掃に関する苦情の対応率	%	100	100	100	100
事業費 計			15,029	14,301	14,900	14,680
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	15,029	14,301	14,900

## H30年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 非常に順調 <b>【成果指標の状況】</b> 向上(最高状態維持含む) <b>【成果向上余地】</b> 余地が小さい・なし	(状況)寄せられた苦情には対応している。 (原因)苦情者の意見を聞き、対応内容を検討、実施しているため。
--------	---	---

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 駅通路等管理事業

[401]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0506	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	05	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	駅の利用者 市が管理する通路	<ul style="list-style-type: none"> <li>尾張旭駅南北線エスカレーター及びエレベーターの管理委託(尾張旭駅南北線エスカレーター保守点検委託料)</li> <li>委託(尾張旭駅南北線エレベーター保守点検委託料)</li> <li>借上(エレベーターカメラ借上料)</li> <li>尾張旭駅前広場、南北線、トイレの清掃管理委託(尾張旭駅前広場・南北線清掃管理委託料)</li> <li>印場駅前広場、南北通路、トイレの清掃管理委託(印場駅前広場・南北通路清掃管理委託料)</li> <li>旭前駅前広場、トイレの清掃管理委託(旭前駅前広場清掃管理委託料)</li> <li>尾張旭、印場駅の南北通路と尾張旭、旭前、印場駅トイレの光熱水費の支払い</li> <li>光熱水費</li> <li>尾張旭駅、印場駅の公衆電話等の電気料の徴収</li> <li>尾張旭駅・印場駅電気料負担収入</li> <li>印場駅南北通路壁面広告2枚の広告料の徴収</li> <li>広告収入</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

通路:安全・快適に通行できている。  
広場:人・車の流れを円滑かつ快適に移動できている。また公共空間として市民に親しまれている。

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	日常清掃の時間、回数 1日当たり2.5時間 トイレ363回、通路182回	回	363	363	363	363
成果指標						
事業費 計			10,784	9,596	10,746	10,396
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他	35	38	40	43
		オ 一般	10,749	9,558	10,706	10,353

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	
	【成果指標の状況】 未設定	
	【成果向上余地】 未設定	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 平子線アンダーパス維持管理事業

[403]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0507	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	・アンダーパスを利用する車両台数	・平子線アンダーパス保守点検委託(長期契約、平子線アンダーパス保守点検等委託料) 排水ポンプ点検(3基):年2回 ポンプ制御盤、非常用発電機、冠水表示機点検、ポンプ井内清掃:年1回 設備の遠隔監視:24hr(異常発生時にファックス、電話で市、担当者に連絡あり) ・平子線アンダーパス自家用電気工作物保守管理委託(平子線アンダーパス保守点検等委託料) 受電設備・非常用発電機点検:隔月1回 ・遠隔監視システム通信料の支払い 役務費(電信電話料) H14年設置。H16年6月に旭前城前(区)から管理移管。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
・降雨時において道路利用車が安全で円滑に走行できるようにする。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	保守点検業務の種類(ポンプ室、冠水表示機、自家発電機)	設備	3	3	3	3
	修繕等の件数	件数	2	1	1	1
成果指標	降雨時における施設の不具合(誤作動等)が起きた件数	件数	0	0	0	0
事業費 計			4,701	3,788	3,875	3,818
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	4,701	3,788	3,875

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 非常に順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	不具合の発生はないが、不具合があってはならない施設なので、引き続き維持管理を行う。
--------	--	---

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 生活道路維持管理事業

[404]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0508	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市の管理する道路、橋梁	市民からの通報及び日常パトロールにより発見された生活道路、橋梁の破損箇所等に対し、適切な維持管理を行う。 ・現場調査の結果、補修方法を検討する。 ・補修が必要な舗装や側溝などの状況に応じ、補修する優先順位をつける。 ・材料を購入し、市作業員により施工する。 ・工事を発注し、施工する。 市道の街路樹の維持管理を行う。 ・高木・中木・低木の剪定・補植及び柵内の除草
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
道路、橋梁利用者が安心して通行できるように維持管理を行い、安全性・利便性が確保できている		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	維持修繕を実施した箇所数	箇所	437	381	390	299
	道路補修の施工件数	件	40	41	20	43
成果指標	道路管理に関する苦情要望対応率	%	100	100	100	100
事業費 計			81,280	72,121	80,600	84,361
財源内訳		ア 国	1,650			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	79,630	72,121	80,600	84,361

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 道路管理に関する苦情要望対応率は100%を保持しています。 (原因) 小規模道路補修工事や道路維持管理委託などにより対応した結果です。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)  【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	全国植樹祭開催に向け、補植等の整備を進めます。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
全国植樹祭に向け、補植や修繕を進めました。			

# 道路橋梁管理庶務事務

[416]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0509	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	05	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路橋梁の維持管理に必要な庶務事務を円滑に行う。</li> <li>現場復旧などに必要な消耗品の購入に伴う支払事務を行う。</li> </ul>

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計			350	349	730	612
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	350	349	730

## H30年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果向上余地】</b> 未設定
--------	--

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

# 横断歩道橋補修事業

[993]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0510	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市が管理している横断歩道橋 横断歩道通行者	<ul style="list-style-type: none"> <li>横断歩道橋の保全を図るため、点検を実施する。</li> <li>補修工事の設計を行い、補修工事を実施する。</li> <li>塗装の塗替え周期は15年とし、塗装後15年以上経過したものを補修(塗装塗替え)対象とする。</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	H25: 東栄北歩道橋 H26: 横断歩道橋定期点検委託 H27: はなの木歩道橋 H31: 横断歩道橋定期点検委託 H32: 東栄南歩道橋 H35: 甚田歩道橋 H37: 川南歩道橋
	利用者が安心して通行できるよう点検・補修を行い、横断歩道橋が適切に維持管理されている。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	補修した横断歩道橋の数	橋	0	0	0	0	
成果指標	補修が必要な横断歩道橋の残数	橋	0	0	0	0	
指標・事業費	事業費 計						
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
オ 一般							

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 補修が必要な横断歩道橋の残数は0橋を保持しています。 (原因) 定期点検を5年に一度行い、計画的に補修を行った結果です。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	施設の管理については、公共施設等総合管理計画に基づき、適切に行います。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 街区基準点管理事業

[1121]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0511	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	05	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	DID地区内の街区基準点(人口集中地区のうち、区画整理等による公図が整備された区域を除く)	平成17年 国が市内区画整理事業等施行済区域を除くDID地区に街区基準点を設置。 平成19年 国が市へ街区基準点を移管。尾張旭市街区基準点管理保全要綱の制定し、街区基準点の閲覧、使用承認及び道路の工事に伴う街区基準点の保全に必要な手続き等の事務を開始。また、簡易な検索システムを構築し運用開始する。 ・街区三角点 53点 ・街区多角点 140点
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	平成20年～ 時間経過とともに保全対象の増加が見込まれるが、工事等により機能に支障をきたさないよう、状況を把握し適正に管理する。 ・窓口での問い合わせの対応(必要に応じ、点の記・成果表の発行:1点10円) ・基準点使用承認申請書、基準点使用報告書等の各種報告書の受理、審査 ・報告により紛失や機能に支障をきたした基準点(三角点・多角点)の復旧
	街区基準点が適切に管理され、常に利用できる状態になっている。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	街区基準点の復元及び点検件数	件数	1	1	1	1
成果指標						
事業費 計			432	432	100	92
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		432	432	100

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	順調	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-



# 橋梁長寿命化修繕事業

[1157]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0512	実施計画
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	管理橋梁 橋梁利用者(通行者)	H21 橋梁台帳作成・全橋梁の一次スクリーニング H22 橋梁詳細点検(1回目) H23 橋梁長寿命化修繕計画策定(第1期) H24 橋梁補修工事(稲葉橋) H26 橋梁補修工事(宮下橋) 管理橋梁数の見直し(85 75橋) H27 橋梁定期点検 橋梁補修工事(東名印場橋) H28 橋梁詳細設計委託(宮下橋) H29 橋梁補修工事(宮下橋)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	H29・30橋梁詳細点検委託(尾張旭駅南北連絡橋) H30 橋梁詳細設計委託(稲葉橋) H31 橋梁補修工事(稲葉橋) H32 橋梁定期点検 H33 橋梁長寿命化修繕計画の策定 委託業者による5年に1回の橋梁定期点検のほか職員による点検を毎月実施している。
	橋梁利用者が安心して通行できるよう計画的な点検・修繕を行い、安全性・信頼性が確保できている	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	点検した橋梁数	橋	36	35	35	35
成果指標	補修した橋梁の数	橋	9	1	1	4
事業費 計			4,998	31,289	17,000	15,889
指標・事業費	財源内訳	ア 国		13,710	4,400	4,400
		イ 県				
		ウ 地方債		14,400		
		エ その他				
		オ 一般	千円	4,998	3,179	12,600

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 補修した橋梁の数は昨年度実績と比べ1橋から4橋に3橋増加しています。 (原因) H30は他事業の河川改修工事にて、橋梁を改修したことが要因と考えられる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	宮下橋に続き、稲葉橋の橋脚耐震化を図ります。 三郷橋は、県の河川改修事業と調整を図り、橋脚の耐震化に向けて検討します。 施設の管理については、公共施設等総合管理計画に基づき、適切に行います。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	平成30年度は稲葉橋の橋梁詳細設計委託を、平成31年度の工事に向けて実施しました。 三郷橋の橋梁補修については、河川管理者である県と協議し、施工時期を検討します。 橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕を進めています。		

# 狭あい道路拡幅整備事業

[1254]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0513	実施計画
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>狭あい道路、狭あい道路に隣接する敷地で建築等を行う建築主等</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>対象道路幅員4m以上が確保されている。</p>	<p>個別対応 要綱に基づき、建築等に伴う道路後退用地について寄附又は土地使用承諾等により確保し、整備する。 H27 要綱制定：事業実施 H28 路線対応要綱策定に伴う要綱の変更 ・国庫補助金(社会資本整備交付金対象事業)</p> <p>路線対応 関係土地所有者全員の同意が条件となるが、路線全体をまとめて積極的に拡幅整備を進める。 H27 制度構築 H28 都市整備課で実施 H29～ 都市整備課に完全移行(事務事業コード31-0109)</p>

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	狭あい道路解消延長の累計(km)	km	0.5	0.6	0.7	0.8	
	用地取得件数	件	9	4	10	5	
成果指標	狭あい道路解消率	%	1.0	1.2	1.4	1.6	
指標・事業費	事業費計			6,349	1,874	5,300	4,014
	財源内訳	ア 国	千円	3,030	819	2,650	1,697
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
オ 一般	3,319	1,055		2,650	2,317		

## H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況)「狭あい道路解消率」はH29実績と比較し、0.4ポイント増加しており、H30計画を達成している。 (原因)H27の要綱策定後、境界確認や開発申請時等、積極的に事業の周知を行っていることが一つの原因と思われる。</p>
--------	--	---

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0901	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 都市計画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市、土地開発公社が保有する街路用地等 愛知県街路事業促進協議会 東海環状地域整備推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路用地等で定期的に草刈等を行う。</li> <li>街路用地等内の木柵等の新設、維持補修工事を行う。</li> <li>街路用地等の管理について要望・苦情があった場合は速やかに対応する。</li> </ul> 各協議会に会費等を支払 ・8月 愛知県街路事業促進協議会会費支払 ・2月 東海環状地域整備推進協議会分担金支払 各協議会からの情報提供及び情報交換の実施 ・各種会議及び研修会への出席、刊行物の收受 平成21年度より愛知県用地対策連絡協議会会費廃止
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

街路用地等が適正に維持管理されている。  
協議会への負担金を支出することにより、本市の発展に寄与する情報提供を受けている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	草刈、工事施工数	件	29	29	22	25
	要望・苦情対応件数	件	2	7	6	2
成果指標	要望・苦情解決率	%	100	100	100	100
事業費 計			2,186	1,992	1,628	1,596
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	2,186	1,992	1,628

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 非常に順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>付近の住民より求められる雑草の草刈り、樹木の剪定、安全面での管理が問題なく行われている。</p>
--------	--	---

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-